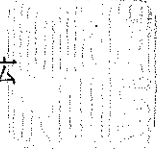


令和7年（2025年）7月9日付け札幌市告示第2926号の内容に係る訂正について、下記のとおり告示する。

令和7年（2025年）7月17日

札幌市長 秋元 克広



記

1 訂正する内容

令和7年札幌市告示第2926号別表の工事番号「25(委)第4284号」工事名「国庫補助事業 太平跨線橋ほか1橋補修実施設計」に係る設計図書の一部を下記のとおり訂正し、入札日等を別表のとおり変更する。

2 設計図書の訂正箇所

別紙のとおり

3 担当部局

〒060-8611

札幌市中央区北1条西2丁目

札幌市財政局管財部契約管理課工事契約係

電話011-211-2442

電子入札

(入札日等訂正版)

0	調達案件番号		2501428411
1	工事（業務）番号		25（委）第 4284 号
2	工事（業務）概要	工事（業務）名	国庫補助事業 太平跨線橋ほか1橋補修実施設計
		工事（履行）場所	札幌市北区太平4条5丁目ほか
		工事（業務）内容	【太平跨線橋】橋長 L=250m（8径間単純鋼鈑桁） 橋梁補修詳細設計 一式 【新琴似第3横橋】橋長 L=6.3m（単純PC床版桁） 橋梁補修詳細設計 一式
		工期（履行期間）	着手の日から令和8年03月25日まで
6	入札参加資格の 申請及び審査	審査方式	事後審査方式（入札参加資格の確認は落札を保留して行う。）
		申請書等提出期限（日）	開札日の翌日まで（審査順1位の落札候補者のみ）
		落札結果通知予定日	令和7年8月20日
11	入札及び開札の日 時・場所等	電子入札案件区分	電子入札
		入札期間（年月日）	令和7年07月28日（08時00分～20時00分） 令和7年07月29日（08時00分～17時00分）
		開札予定日時	令和7年07月30日 09時30分
		場所	札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎14階財政局入札室
		提出方法	電子入札システムによること。
17	施行担当課及び 電話番号	施行担当課	建）土木部街路工事担当課
		電話番号	011-211-2623

■ 特記仕様書（共通） ■

誤

1 業務の目的

本業務は、「札幌市橋梁長寿命化修繕計画」（R3.12 建設局土木部道路維持課）に基づき、太平跨線橋および新琴似第3横橋について、従来の長寿命化修繕検討業務で行ってきた詳細調査や工法検討、及び長寿命化修繕工事に係る実施設計等を行うものである。

本業務で対象としている橋梁は、札幌市橋梁長寿命化修繕計画において、重要橋梁と位置付けられるグループ①（太平跨線橋）と、一般橋梁と位置付けられるグループ④（新琴似第3横橋）に分類される。

グループ①に分類されている橋梁は、修繕計画における目標供用年数を100年と定め、予防保全的な維持管理を行うこととしており、損傷が軽微な段階でグレードの高い補修を実施する橋梁グループである。

グループ④に分類されている橋梁は、修繕計画における目標供用年数を60年と定め、事後保全的な維持管理を行うこととしており、安全上の問題が生じる前の段階で補修を実施する橋梁グループである。

業務の履行に当たっては、貸与する既往資料、橋梁定期点検調査書、本業務で実施する近接目視調査等の結果から、当該事業の主旨を十分に達成できるよう配慮すること。

2 業務着手日

令和7年8月18日を業務着手日（想定）とする。

3 業務内容

項目	設計条件
設計項目・数量	① 橋梁長寿命化実施設計 N=2 橋 ② 詳細調査 N=2 橋
工区割りの有無	有（路線ごとに分割する） ・ 無

4 電子納品

- 1）本業務は電子納品対象業務とする。なお、電子納品の運用にあたっては「電子納品に関する手引き【土木業務編】」（以下、「手引き」という。）に基づいて行うものとする。
- 2）成果品は、「手引き」に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R、DVD-R等）で2部提出する。「手引き」で特に記載のない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、疑義がある場合は担当職員と協議のうえ、電子化の是非を決定する。
- 3）成果品の提出の際には、業務中及び業務完了前にシステムチェックとウイルスチェックを実施したうえで提出すること。
- 4）図面データについては、本市で使用している AutoCAD のバージョンを担当職員に確認し、同ソフトにおいて文字化け、フォントサイズによるずれ等が発生しないよう、成果品を作成すること。また、図面内に図表を配置する場合は、併せて元データを提出すること。

■ 特記仕様書 (共通) ■

正

1 業務の目的

本業務は、「札幌市橋梁長寿命化修繕計画」(R3.12 建設局土木部道路維持課)に基づき、太平跨線橋および新琴似第3横橋について、従来の長寿命化修繕検討業務で行ってきた詳細調査や工法検討、及び長寿命化修繕工事に係る実施設計等を行うものである。

本業務で対象としている橋梁は、札幌市橋梁長寿命化修繕計画において、重要橋梁と位置付けられるグループ①(太平跨線橋)と、一般橋梁と位置付けられるグループ④(新琴似第3横橋)に分類される。

グループ①に分類されている橋梁は、修繕計画における目標供用年数を100年と定め、予防保全的な維持管理を行うこととしており、損傷が軽微な段階でグレードの高い補修を実施する橋梁グループである。

グループ④に分類されている橋梁は、修繕計画における目標供用年数を60年と定め、事後保全的な維持管理を行うこととしており、安全上の問題が生じる前の段階で補修を実施する橋梁グループである。

業務の履行に当たっては、貸与する既往資料、橋梁定期点検調書、本業務で実施する近接目視調査等の結果から、当該事業の主旨を十分に達成できるよう配慮すること。

2 業務着手日

令和7年8月25日を業務着手日(想定)とする。

3 業務内容

項目	設計条件
設計項目・数量	① 橋梁長寿命化実施設計 N=2 橋 ② 詳細調査 N=2 橋
工区割りの有無	有(路線ごとに分割する) ・ 無

4 電子納品

- 1) 本業務は電子納品対象業務とする。なお、電子納品の運用にあたっては「電子納品に関する手引き【土木業務編】」(以下、「手引き」という。)に基づいて行うものとする。
- 2) 成果品は、「手引き」に基づいて作成した電子データを電子媒体(CD-R、DVD-R等)で2部提出する。「手引き」で特に記載のない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、疑義がある場合は担当職員と協議のうえ、電子化の是非を決定する。
- 3) 成果品の提出の際には、業務中及び業務完了前にシステムチェックとウイルスチェックを実施したうえで提出すること。
- 4) 図面データについては、本市で使用しているAutoCADのバージョンを担当職員に確認し、同ソフトにおいて文字化け、フォントサイズによるずれ等が発生しないよう、成果品を作成すること。また、図面内に図表を配置する場合は、併せて元データを提出すること。

設計内訳書（金抜き）

業務番号		業務名	国庫補助事業 太平跨線橋ほか1 橋補修実施設計	当 初	業務	設計業務	
					項目	道路構造物設計	
項目・工種・種別・細別			規格	単位	数量	数量増減	摘要
設計照査			補修項目4～6項目	橋	2		単-27号
打合せ				式	1		
打合せ			中間打合せの回数 2回	式	1		内-6号
直接経費				式	1		
直接経費				式	1		
機械経費				式	1		
高所作業車			トラック架装リフト フォーム型（伸縮フォーム・バスケット型）作業床高さ8～10m 標準デッキタイプ	日	4		単-28号
旅費交通費				式	1		
旅費交通費（率計上）				式	1		内-7号
電子成果品作成費				式	1		
電子成果品作成費				式	1		内-8号

設計内訳書（金抜き）

業務番号		業務名	国庫補助事業	太平跨線橋ほか1橋補修実施設計	当	初	業務	設計業務
							項目	道路構造物設計
項目・工種・種別・細別				規格	単位	数量	数量増減	摘要
設計照査				補修項目4～6項目	橋	2		単-27号
打合せ					式	1		
打合せ				中間打合せの回数 2回	式	1		内-6号
直接経費					式	1		
直接経費					式	1		
機械経費					式	1		
高所作業車				トラック架装リフト フォーム型（伸縮フォーム・バスケット型）作業床高さ8～10m 標準デッキタイプ	日	4		単-28号
点検車回送費					回	2		単-29号
旅費交通費					式	1		
旅費交通費（率計上）					式	1		内-7号
電子成果品作成費					式	1		

追加

単一29号		1 次単価表（金抜き）			単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制		2025. 06 2025. 06 1. 000-00000002000	
点検車回送費					単位	回	数量	1
名称		規格		単位	数量		摘要	
点検車回送費		10km迄【北海道建設部共通単価】		回	1			
計								
単価							円／回	